

重点取組分野	平成28年度		総括	重点取組分野	平成29年度		総括	重点取組分野	平成30年度		総括
	具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①「授業研究週間」を設け、授業参観と自己評価や相互評価の実施によって「学びあう教師集団」を作り、カリキュラムマネジメントのPDCAサイクルを充実させ、個々の教師の授業力向上を図り、わかりやすい授業を行っています。②少人数指導やTT授業など、個に応じた一人ひとりを伸ばす学習形態を工夫します。③図書ボランティアの支援のもと良好な読書環境を整備する。	①「授業研究週間」を活用し、授業に関する協議を行い、個々の教師の授業力向上を図ることができた。②少人数指導やTT授業で、きめ細やかな指導を行い、生徒の質問等適切に対応することができた。③学校司書と図書ボランティアが連携・協働し、季節に合った本の紹介などの良好な読書環境の整備に努めた。	B	確かな学力	①「授業研究週間」を設け、授業参観と自己・相互評価実施により「学びあう教師集団」を作り、カリキュラムマネジメントのPDCAサイクルを充実させ、わかりやすい授業を行っています。②少人数指導やTT授業など、個に応じた一人ひとりを伸ばす学習形態を工夫します。(英語、数学等)。			確かな学力	c5		
豊かな心	①地域行事等へ進んで参加することを通して、相手思いやる心や社会のルールを守る姿勢、社会に役立つ行動をとる姿勢を育成し、社会性を身に付けさせます。②生徒会活動で朝の挨拶運動を行い、より良い生活習慣の定着を目指します。	①「ボランティア」意識の向上から地域行事への参加意識も増してきた。将来の自分像に反映できるような自己肯定感の形成に役立った。②生徒会中心に一般生徒へ呼び掛け、挨拶運動の意義について全体に周知できた。今後は、さらに挨拶の輪を広げ、発展させていきたい。	B	豊かな心	①地域行事等へ進んで参加することなどを通して、相手思いやる心や社会のルールを守る姿勢、社会に役立つ行動をとる姿勢を育成し、社会性を身に付けさせます。②生徒会活動で朝の挨拶運動を行い、より良い生活習慣の定着を目指します。③道徳の教科化に合わせて学習教材の研究をし、よりよい実践を目指します。			豊かな心	c6		
健やかな体	①新体力テストの結果を基に、体力向上に向けて生徒一人ひとりの目標を定め、実践します。②体育委員会主催の「お外で遊ぼうDAY」を通して、体力向上を図ります。	①新体力テストの結果を基に、原因と解決方法を探り、一人一人にあった体力向上プランを作成し実践した。②お外で遊ぼうDayに向けて、日常的に外に出て体を動かしたり、練習をしたりするなどの活動が習慣化され、体力向上につながった。	A	健やかな体	①新体力テストの結果より、自己の体力状況を分析し、体力向上プログラムを考え、実践する資質を育てます。②体育委員会主催の「お外で遊ぼうDay」を通して、生涯に渡って運動に親しむ資質の育成を図るとともに、体力の向上を図ります。			健やかな体	c7		
生徒指導	①年3回の教育相談日を設け、また必要に応じて相談活動を行い、生徒の相談環境を整えます。②学級でのGWTや班長会などのリーダー指導を通じ、望ましい自治活動につなげます。	①年3回の教育相談で、生徒が困っていることや悩みを教員に相談できる機会をつくることになった。②学級では班長会を通して、リーダー指導を行うことができた。GWTではリーダーの育成とともに、班の中の良い人間関係を構築し、それぞれが責任を持って行動することの大切さを学び、自治活動を学ぶ機会にすることができた。	B	生徒指導	①年3回の教育相談日を設け、また必要に応じて相談活動を行い、生徒の相談環境を整えます。②学級でのGWTや班長会などのリーダー指導を通じ、望ましい自治活動につなげます。			c1			
特別支援教育	①個別支援学級と一般学級の生徒の交流活動を行い、相互理解を深めます。②個別の教育支援計画を保護者と共有しながら作成し、支援指導に役立てます。③支援が必要な生徒の情報を共有し、一貫性のある支援指導をめざした支援体制を作ります。④特別支援教室を全職員で協力して運営し、その充実を図ります。⑤誰もが学びやすい学習環境や授業づくりにむけた取り組みを行います。	①個別支援学級と一般学級の生徒が交流できる場を設定し相互理解を深めた。②個別の教育支援計画を保護者とともに作成し支援指導に役立てた。③⑤要支援生徒に対する「個別の指導計画」の作成と活用を促進させ、一貫した支援指導のための体制づくりを行った。④全職員体制で特別支援教室を運営した。	B	特別支援教育	①個別支援学級と一般学級の生徒交流活動を行い、相互理解を深めます。②個別の教育支援計画を保護者と共に作成し支援指導に役立てます。③支援が必要な生徒の情報を共有し、一貫性した支援指導ができるよう体制づくりを進めるとともに、誰もが学びやすい学習環境づくりに努めます。④特別支援教室を全職員で運営し、充実を図ります。			c2			
地域連携	①保護者が授業を参観したり、行事に参加する機会を前年に2回、後年に3回設けます。②学校ホームページを適時更新し、最新情報を提供します。③地域行事への参加を生徒会とタイアップして積極的にいきます。	①年3回の授業参観および体育大会、文化祭による保護者の参観を実施することができた。②月間の行事予定や学校だよりなどを随時更新して、情報発信を行っている。③地域の夏祭りのボランティア参加や防災訓練、商店街の催しへの参加を積極的に行うことができた。	A	地域連携	①保護者が授業を参観したり、行事に参加する機会を前年に2回、後年に3回設けます。②学校ホームページを適時更新し、最新情報を提供します。③地域行事への参加を生徒会とタイアップして積極的にいきます。			c3			
人材育成・組織運営	①新任教諭が経験する様々な壁を乗り越えていけるよう、コミュニケーションを活発にさせ、ベテラン教諭、中堅教諭の役割を考えたOJTの充実を図ります。②中堅教諭に、近い将来各分野でのリーダーとなる自覚と力量アップを図る校内研修を行い、伝承と協働の充実を図ります。	①職員相互のコミュニケーションは活発で、授業や生徒指導についての意見交流は日常的に行われている。また、職員のキャリアステージに合わせたOJTの充実を図ることができた。②中堅教諭向け研修を特別に設けることはできなかったが、日頃の業務の中で職員のスキルアップを図った。	B	人材育成・組織運営	①新任教諭が経験する様々な壁を乗り越えていけるよう、コミュニケーションを活発にさせ、ベテラン教諭、中堅教諭の役割を考えたOJTの充実を図ります。②校内研修を計画的に行い、さまざまなステージにいる教諭の専門性を高める機会を多く設けることで、伝承と協働の充実を図ります。			c12			
ブロック内相互評価後の気付き	今年度は小中合同で児童生徒理解に関する研修会を行った。小中各校での児童生徒指導のスタンダードや指導方法についての交流を行い、職員の意識の高まりが見られた。専任間の連携もこれまで以上に強め、学校評価でも児童生徒指導に関する項目の高まりが見られた。また、体力向上の取組については委員会の取組やクラブ活動、部活動などを通して行われており、児童生徒の体力向上へとつながっている。今後も小中9年間の教育課程を互いに理解した上で、小中9年間の系統性を踏まえた取り組みを続けていきたい。次年度はこれまでの取組に加え、「豊かな心」をテーマに研修を深めていきたいと考えている。			ブロック内相互評価後の気付き				ブロック内相互評価後の気付き	c11		
学校関係者評価	ここ数年、落ち着いた環境の中で学校教育目標の達成に向け教育活動が展開されている。今年度も学校関係者の方々からはPTAや保護者、地域の方々からの声も含め本校の取組については高い評価をいただいた。今後の課題としては経験の浅い職員が増える中、今の状況を維持向上させるためには初任や経験の浅い職員の育成とそれぞれのキャリアステージごとの人材育成が重要との指摘をいただいた。学校としては人材育成に力を入れるとともに経験の浅い職員も安心して力を発揮し、保護者や地域の方々から不安を与えないようチーム学校として取り組んでいきたい。			学校関係者評価				学校関係者評価	c10		
学校経営中期取組目標振り返り	確かな学力については「授業研究週間」を活用して授業力の向上を図るとともに少人数やTT授業など授業形態の工夫により成果を上げることができた。健やかな体については「お外で遊ぼうDAY」が定着し、新体力テストの活用とともに体力の向上に役立っている。地域連携については学校情報を適切に発信するとともに授業参観や様々な学校行事への保護者、地域の方々の参加、生徒の地域行事への参加等今年度も地域とは良い連携が図れた。一年目の取組としては良い成果を得ることができた。今後は現状に満足せずさらに高い目標を掲げ、チーム丸中で取り組んでいきたい。			学校経営中期取組目標振り返り				学校経営中期取組目標振り返り	c4		

